

我々は高密度に圧縮された間で生きている

そこでのみ得られる便利さや快適さは我々が本来持つものを鈍化させてしまうのかもしれない

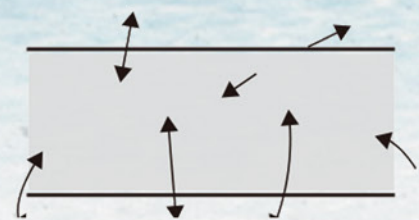
声が響いたり，風が吹き込んだり，陽の光が差し込んだり

この建物はあらゆる浸透や漏出を許容し、我々はそれらを体験する術を知っている

それは出来の悪い歯車のように伝達は悪いかもしれないが、確かに伝搬し繋ぐ間となる



周囲の木や建物の高さに合わせて建物の高さを設定する



様々な方向性が生まれるように圧縮や伸張を加える



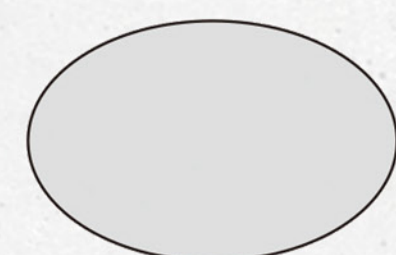
求心性と遠心性がせめぎ合い高さや厚み、捻じれが生まれる



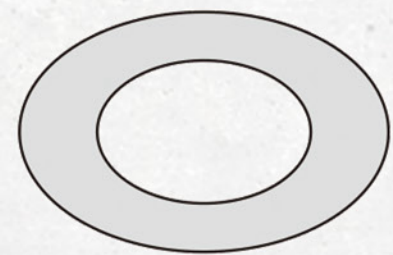
任意の高さで切断することで大地との不規則なリズムが生まれる



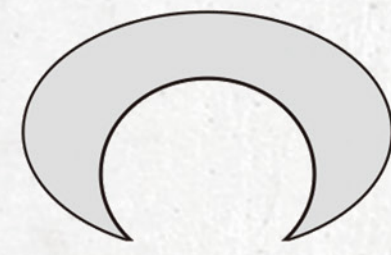
居心地の良い場所を探してリズムの間に自由に入りこむ



周囲の木や遊歩道に合わせて建物の大きさを設定する



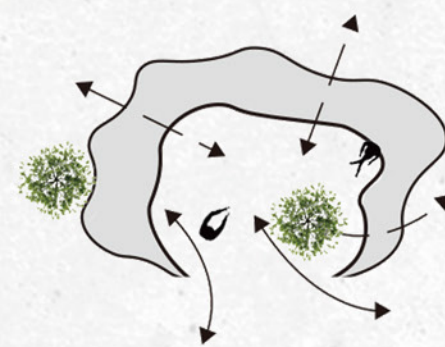
求心性を持つ孔として中央に commonspace を設ける



孔を拡張し円を破ることで内外が浸透・漏出する



高さ方向のリズムに合わせて波立つように躯体を変形させる



外形に押しさえつけられることなく収斂と分散を繰り返す

